

第4期 第2回札幌市市民活動サポートセンター事業運営協議会

概 要

日時：平成21年1月28日（水）

19:00～21:10

場所：札幌エルプラザ2階会議室1・2

1. 開 会

2. 事務局より 「事業運営協議会の趣旨と確認事項について」

協議会での意見等をどのように運営に反映しているのかを明確に提示していくこと。

協議会は評価機関という位置付けではないこと。

協議会は指定管理者が主催しているため、直接札幌市へ意見を申し入れる場ではないこと。

3. 議 事

(1) 平成20年度 事業実施状況報告

平成20年9月以降に実施した各種事業実施状況について報告を行う。

また、平成20年4月～12月までの施設利用状況、活動支援施設などの相互利用状況、印刷機等支援機器利用状況、団体登録状況、市民活動相談状況などの報告をした。

(2) 平成21年度事業計画についての説明

重点項目として

<市民活動の裾野の拡大>

市民活動に対して認識を持たない市民や、市民活動に興味を持ちながらも活動のきっかけをつかめずにいる市民に向けて有用な情報提供を行う。さまざまな場面へ出向き、市民活動への認識を高め市民参画の機会をつくる。

<情報発信の充実>

市民活動を始めようとする市民の参画と団体間のネットワークの形成を目指し情報収集・発信に重点を置く。

(3) 検討議題「事務ブース使用団体への支援方法のアイデア」について

「考慮ポイント」や、「第3期での検討結果」をもとに、各委員よりお話しを頂いた。

- ・ブースの役割と機能を再確認（整理）する
- ・事業に参加することの必要性を位置付ける（協働作業をする場としての考え）
- ・ブースのメリットを募集要項に載せてはどうか
- ・場所貸しでは困る、自主的な活動を望む

- ・退去後のサポートを考えてはどうか
- ・入居代（1万円）を支払うのが大変。助成金などの支援はどうか
- ・市の広報を使用してどんどん宣伝をしてはどうか
- ・入居者の潜在的なニーズを調査してはどうか
- ・市の施設を占有する、公共性の意識を高めてもらう
- ・入居団体についての活動PRをHP上でもっと積極的に進めるほうがよい

（今後に向けて）

入居者が自立するための具体的な整理（議論）をしていくこと
事務局のスタンス（成長を支援する要素）をはっきりとしていくこと

（4）平成21年度事務ブース使用団体選考委員の推薦について

現在の事務ブースの利用状況、平成21年度事務ブース使用団体募集の内容を報告した。

選考委員会を設け、事務ブース使用団体を決定する。選考委員のメンバーとして協議会委員の中から2名選出を依頼し決定した。

4 . 閉 会